

- 《履修上の留意事項》1. 授業資料を配付する場合には、重要ポイントなどをメモとして適切に書き留めること。
2. 毎回授業後に小テストを実施するので、よく授業を聞いて理解すること。
3. 授業終了後復習に際し、授業内容をまとめる習慣を身に付けるように努めること。

《担当者名》教授 / 古市 保志 furuichi@ 学長 / 浅香 正博 教授 / 斎藤 隆史 t-saito@ 教授 / 伊藤修一 shu@
教授 / 細矢 明宏 hosoya@ 教授 / 長澤 敏行 nagasawa@ 教授 / 永野 恵司 knagano@
教授 / 荒川 俊哉 arakawa@ 教授 / 舞田 健夫 tmaida@ 教授 / 疋田 一洋 hikita@ 教授 / 根津 尚史 tnezu@
教授 / 志茂 剛 shimotsu@ 教授 / 中山 英二 enaka@ 教授 / 永易 裕樹 nagayasu@ 教授 / 入江 一元 irie@

【概要】

歯学部では歯科医学に精通し医療提供者として社会に貢献できる歯科医師を育成するために、全学教育科目、専門基礎科目および臨床系科目の講義と実習が学年の進行に合わせて複合的に行われる。歯学概論では、専門基礎系科目および臨床系科目の教授内容に関する概説を聴講し、6年間で学ぶべき内容と目指すべき歯科医師像について理解を深める。

【学修目標】

- 1 浅香 歯科医学と歯科医療の違いを理解するとともにどのように発展してきたかを学ぶ。
- 2 古市 超高齢社会において歯科医療の果たすべき役割の概要を理解する。
- 3 斎藤 う蝕をはじめとする歯の硬組織疾患とその予防・治療法の概要を理解する。
- 4 伊藤 歯髄の構造上の特異点、歯髄疾患および根尖性歯周組織疾患の概要を理解した上で、歯内療法の目的ならびに意義を理解する。
- 5 長澤 歯周病の原因と治療について概要を学ぶとともに、歯周病の診断・治療に解剖学、微生物学、生化学などの基礎医学や内科学などの隣接医学が必須であることを理解する。
- 6 細矢 人体を構成する組織および口腔組織の構造を学ぶ意義を理解するとともに、歯の組織構造と機能との関連を理解する。
- 7 永野 1. う蝕や歯周病の発症や進行に関連する微生物を知る。
2. う蝕や歯周病の発症機序に関する学説を理解する。
- 8 荒川 生体組織は分子で構成されており、分子機能の破綻が疾患を引き起こす事を理解する。
- 9 舞田 顎口腔系における形態美・色彩美・機能美の調和が患者のQOL向上につながることを理解する。
- 10 疋田 歯科医療におけるデジタル技術の活用と従来法との違いを理解する。
- 11 根津 歯科医療が多くの材料・器械に依拠している実態を理解し、治療に応じた材料や器械の種類、特性の概要を理解する。
- 12 志茂 口腔・顎顔面領域の構造・機能を理解し、疾患・病因及び診断・治療を理解する。
- 13 中山 歯科医療における電離放射線が利用されていること、医科を含む医療全般における多職種連携をとるために画像診断の概要を学習する必要があること、および国民に対する電離放射線障害の軽減策が必要であることを理解する
- 14 永易 口腔外科において診断・治療の対象となる疾患の概要と各疾患における治療目標について理解する。
- 15 入江 1. 解剖学を学ぶ意義を理解する。
2. 人体解剖学実習とそれを支える献体についての理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯学概論講演	歯科医学と歯科医療の違いを理解するとともにどのように発展してきたかを学ぶ。 コアカリ：B-1 健康の概念	浅香 正博
2	歯学概論序論	本学歯学部での歯科医学教育について概要を理解する。 超高齢社会において歯科医療の果たすべき役割の概要を理解する。 コアカリ：B-1 健康の概念 E 臨床歯学	古市 保志
3	う蝕をはじめとする歯の硬組織疾患とその予防・治療法を知る	歯の構造と機能の概要を理解する。 う蝕とその他の歯の硬組織疾患の概要を理解する。 う蝕とその他の歯の硬組織疾患に対する予防・治療の概要を理解する。 コアカリ：B-3-2)- 主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。	斎藤 隆史

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>B-3-2)- 齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。</p> <p>B-3-2)- プラークコントロールの意義と方法を説明できる。</p> <p>E-3-1)- 歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。</p> <p>E-3-2)- 歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。</p>	
4	歯内療法を知る	<p>歯髓の構造上の特異点を理解する。</p> <p>歯髓疾患および根尖性歯周組織疾患の概要を理解する。</p> <p>歯内療法の目的ならびに意義を理解する。</p> <p>コアカリ：E-3-3)-(2) 歯髓・根尖性歯周疾患の診断と治療</p>	伊藤 修一
5	臨床教育	<p>歯周組織の構造と機能の概要を理解する。</p> <p>歯周病の概要を理解する。</p> <p>歯周病に対する治療の概要を理解する。</p> <p>コアカリ：A-3-4 歯と歯周組織の構造と機能 D-2-4 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 D-5-2 歯と歯周組織の疾患の治療</p>	長澤 敏行
6	歯の組織	<p>人体を構成する組織および口腔組織の構造を学ぶ意義を理解する。</p> <p>歯の組織構造と機能との関連を理解する。</p> <p>コアカリ：A-3 人体各器官の正常構造と機能 A-3-4) 歯と歯周組織の構造と機能</p>	細矢 明宏
7	微生物学・免疫学を学習する意義について	<p>う蝕や歯周病が微生物によって発症および進行することを知り、微生物学を学習する意義を理解する。</p> <p>コアカリ：A-4 感染と免疫 A-4-1-5 常在微生物叢の性状とヒトに対する感染機構を理解している。 A-4-2-1 自然免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。</p>	永野 恵司
8	生化学・口腔生化学	<p>生体は様々な分子で構成されていることを理解する。</p> <p>コアカリ：C-2-1) 生命を構成する基本物質 C-2-3) 細胞の構造と機能 C-2-4) 細胞の情報伝達機構 C-5-1) 病因論と先天異常</p>	荒川 俊哉
9	歯科診療と審美	<p>歯科診療における審美のあり方を理解する。</p> <p>コアカリ：D-4-3患者中心の医療とインフォームドコンセント D-5-3-1 固定性補綴装置（クラウンブリッジ）による治療 D-5-3-3 口腔インプラントによる治療</p>	舞田 健夫
10	デジタル技術と歯科診療	<p>歯科におけるデジタル技術の活用を理解する。</p> <p>コアカリ：B-3-4 成形・加工用機器（デジタル成形加工を含む）の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。 C-6-3 保健医療情報リテラシー</p>	疋田 一洋
11	歯科理工学	<p>材料、器械に依拠する歯科治療の特性を理解する。</p> <p>歯科の治療に使用される材料と器機類の種類と特性の概要を理解する。</p> <p>コアカリ：B-2 歯科材料、B-3 歯科医療器械</p>	根津 尚史
12	口腔外科の役割を知る	<p>歯科における口腔外科の役割を理解する。</p>	志茂 剛

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>口・あごの疾患を知る。</p> <p>コアカリ：E-2-2) 口腔領域の構造と機能 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>	
13	電離放射線と画像検査を知る	<p>放射線とはなにかを理解する。 放射線が医療にどのように利用されているかを理解する。 歯科医療において放射線学を学ぶ意味を理解する。</p> <p>コアカリ：C-3 医療の質と患者安全の確保 D-2-4 医科歯科連携 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 E-2-5 画像検査を用いた診断</p>	中山 英二
14	口腔外科を知る	<p>歯科診療における口腔外科の位置づけを理解する。 顎・顔面領域の疾患について概要を理解する。 顎・顔面領域の疾患の治療法の概要を理解する。</p> <p>コアカリ：C-1 医の倫理、生命倫理と患者中心の歯科医療 C-3 医療の質と患者安全の確保 D-2 基本的診察、診断 E-2-2 口腔、顎顔面領域の診察・検査 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査</p>	永易 裕樹
15	解剖学・口腔解剖学	<p>歯科臨床とのかかわりから解剖学学習の意義を学ぶ。 人体解剖学実習の概要と意義を知る。 献体について理解する。</p> <p>コアカリ：C-1 医の倫理 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-1-2 臨床（生と死に関わる問題を含む）に関する倫理的問題を理解している。</p>	入江 一元

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

前後期ともに講義時に小テスト、レポート提出等を実施し、各回10点満点とする。

- ・前期は、前期分の平均点を100点換算し評価点とする。学業（通年）は、前後期通年の平均点を100点換算し評価点とする。

【学修の準備】

- 1 浅香 予習（30分）世界史の概略を理解しておくこと。
 - 2 古市 予習（30分）健康寿命を延伸させる方策について情報を収集しておくこと。
 - 3 斎藤 予習（30分）歯の構造およびう蝕について調べておくこと。
 - 4 伊藤 予習（30分）「歯の解剖学」の教科書、参考を用いて歯や根管の形態や機能などについて学習する。
 - 5 長澤 予習（30分）歯周病の原因と治療法について自ら調べて現時点での自分の考えをまとめておくこと。
 - 6 細矢 予習（30分）人体構造科学で学んだ内容を理解しておくこと。
 - 7 永野 予習（30分）厚生労働省の運営するe-ヘルスネット（<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/teeth>）を見ておくこと。
 - 8 荒川 生体にはどんな分子があるのかをNetで調べてみる。
 - 9 舞田 どのような口元（歯並び、歯の形態、色調など）が美しく感じるのかを日頃から雑誌、テレビ、映画などを意識して観ること。
 - 10 疋田 現代社会におけるデジタル技術の活用に注目する。
 - 11 根津 予習（30分）
- 自身の歯科治療経験から
- ・治療する部位にどのような材料を使うのがふさわしいか、
 - ・その材料を取り扱うのにどのような器械を使うのが合理的か、
- を考え、ノートにまとめる。

12 志茂 予習（30分）口・あごの病気（外傷・口腔がん・顎変形症など）をインターネットなどで調べてみることに。

13 中山 予習（30分）医療や原子力発電所の事故処理など、身近に電離放射線が利用されていることに関するニュースをよく見聞きしておくこと。

14 永易 事前配布資料および図書館にて4学年使用の「Simple Text 口腔外科の疾患と治療」の大項目について予習すること。

15 入江 予習（30分）

・解剖学の知識が歯科の臨床を行う際にどのようにかわるか、例を挙げて考える。

・本学ウェブサイトの「附属施設」から「白菊会」のページを閲覧し、「献体」について考え、献体した際に遺骨が返還されるまでどれくらいかかるか調べる。

【ディプロマ・ポリシーと当該授業科目の関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するための基礎知識を学修する（専門的実践能力）。

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーションの基本能力を身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる基本能力を身につける（自己研鑽力）。

DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために必要な基本知識を学修する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5.歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な基本知識を学修する（社会的貢献）。

【実務経験】

古市 保志（歯科医師）、浅香 正博（医師）、斎藤 隆史（歯科医師）、伊藤修一（歯科医師）、細矢 明宏（歯科医師）、長澤 敏行（歯科医師）、舞田 健夫（歯科医師）、疋田 一洋（歯科医師）、志茂 剛（歯科医師）、中山 英二（歯科医師）、永易 裕樹（歯科医師）、入江 一元（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医師、歯科医師としての実務経験を活かし、幅広い歯科医療の展開の基盤となる基礎歯科医学を学修し、目指すべき歯科医師像の構築に寄与する教育を行っている。